

「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート（B：裁量無及びその他）

記入日 令和 4 年 4 月 14 日

事業名称		消防事務委託費[常備消防委託]						
予算科目	款 9	消防費	項 1	消防費	目 1	常備消防費	事業番号 1	
事業の種別		<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せなし) <input type="checkbox"/> 課内庶務等 <input type="checkbox"/> 休止したもの <input type="checkbox"/> 廃止したもの						
担当部署・課長名		防災安全 課 消防 係				課長名	伊野宮 崇	
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。					施策番号	4 - 6		
【施策名】 防災・防犯体制の推進					総合計画書(ページ)	93		
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。			① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)				
	市民			人口(当該年度4月現在)				
	→			→				
2 指標の推移	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]			② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)				
	市民の生命・財産を火災等の被害から守る。			常備消防の火災出動件数。 ※昨年度まで、「火災等による死傷者数」を成果指標としていたが、「火災出動件数」に修正した。				
	→			→				
3 経費	③ そのために何をしましたか。			③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)				
	東京都に常備消防を委託している。			常備消防の火災出動率。 ※昨年度まで、「火災出動件数(救急活動を除く)」を活動指標としていたが、「常備消防の火災出動率」に修正した。				
	→			→				
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標	
				平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標
	対象指標	①の数値	人	85,337	85,266	85,294		
	成果指標	②の数値	件	18	16	20		
	目 標	②の目標値	件	0	0	0		
	目標値設定の考え方(課内庶務、休止したもの、廃止したものを除く。)発生した全ての火災の鎮火を目標とする。							
3 経費	事業費(実績)		円	1,022,851,380	1,032,519,380	1,050,674,762	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外)年間単価は、8,250,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】令和2年度決算数値(退職手当組合負担金、共済費も含む。)	
	財源	一般財源	円	604,986,380	470,029,380	527,087,762		
		特定財源	円	417,865,000	562,490,000	478,587,000		
	(うち受益者負担)		円	0	0	0		
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.05	0.05	0.05		
		所要人数(再任用)	人	0	0.0	0.0		
		職員人件費(再任用以外)	円	415,500	419,000	412,500		
職員人件費(再任用)		円	0	0				
事業費+人件費		円	1,023,266,880	1,032,938,380	1,051,087,262			
4 課題	今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案) ※廃止したものを除く							
	昭和49年度により東京消防庁に事務委託をしている。また、都内では稲城市を除く市町村が東京消防庁に事務委託をしている。							
5 今後の方向性	仕事の方向性(「4課題」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など) ※廃止したものを除く							
	火災による出動回数が増加したものの、救急による出動件数は減少した。							